

体育施設等指定管理者ミズノグループの評価 【選定委員総括表】

目的：地域住民の心身の健全な発達及び体育・レクリエーションの普及振興を図る

評価日：平成28年6月30日

評価対象期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

評価項目		評価視点	評点
1	施設の活性化	・利用者に対して、有益で魅力的な施設等の提供（岐南町総合体育館・岐南町町民運動場・岐南町スポーツセンター・岐南町防災コミュニティーセンター） ①施設の利便性を向上させる取組みが、適切にされているか ②利用促進を図る広報・ホームページ・チラシ等、幅広いPRがされているか	3.6点
		・創意工夫に満ちた新規自主事業の実施がされているか ・利用者のニーズにあった幅広い自主事業が、実施されているか	3.6点
2	サービス向上	・窓口・電話等での接遇・案内等は、適正に行われているか ・利用者からの意見を、可能な範囲で施設の管理運営に反映させているか ・利用者に適切なサービス提供をしうる職員の配置・勤務体制となっているか ・個人情報保護について、法令遵守されているか	3.6点
3	施設設備の点検・維持管理	・施設設備を安全に運用するための点検・維持管理は、適正に行われているか	3.6点
4	管理経費の効率化	・施設管理に係る経費の効率化が図られているか	3.4点
合 計 点			17.8点
総括評価（優：20.0点～17.1点 良：17.0点～12.1点 可：12.0点～7.1点 不可：7.0点～5.0点）			優

選定委員会の意見

- 1) 体育施設等全体の年間利用者が昨年度に比べ、6千人以上増加しており、利用者拡大につなげたことは評価できる。一方、個別には、防災コミュニティーセンターの稼働率が下がっており、今後、その増加に向けた具体策を工夫することが望まれる。
- 2) 施設設備の点検や維持管理について、適切な管理運営がされていることは評価できる。ただし、利用者に利用マナーを厳守することを呼びかけたり、館外の草刈りをこまめに実施するなどにより、施設的美観保持に、より一層配慮することを期待する。
- 3) 多種多様な自主事業を企画し、潜在化しているスポーツ需要を掘り起こすなど、町民のスポーツ需要にきめ細かく対応している姿勢は評価できる。今後も、自主事業の見直し等、試行錯誤を続けながら、利用者のニーズに応えたスポーツ機会の提供に積極的に取り組んでもらいたい。
- 4) 必要な人員配置の実施による人件費の増加や経常的な経費の増加もあり、収支改善には至っていないものの、経費削減に努めていることが伺われ、また今後の効率化への方向性もはっきり伺えることは評価されるべきである。自主事業を柱とした事業展開を図るなど収支改善に向けた一層の経営努力を期待する。